

Infosys Finacle Banking Innovation Awards 2021 の受賞企業発表

バンガロール（インド） - 2021 年 11 月 16 日: [インフォシス](#) (NSE, BSE, NYSE: INFY)の完全子会社 [EdgeVerve Systems](#) の一部である [Infosys Finacle](#) が本日、年間「Infosys Finacle Innovation Awards 2021（2021 年 Infosys Finacle イノベーションアワード）」の受賞企業を発表しました。この賞は 10 部門で世界の銀行 50 行から約 270 件のノミネートがあり、世界の銀行およびテクノロジーのリーダーから成る専門家の審査員団が「イノベーション指数」、「利益指数」、「複雑性指数」に基づいて候補企業を評価し、受賞企業が決定しました。第 7 回目となる今回は、世界の金融機関の中から、飛躍的なイノベーションと斬新なアプローチにより関係者に新しい価値をもたらした金融機関が受賞しました。

Infosys Finacle Innovation Awards 2021 は銀行業界に影響を与えたイニシアチブを「製品イノベーション」、「チャネルのイノベーション」、「顧客ジャーニーの新たな創造」、「コーポレートバンキングのデジタル化」、「エコシステム主導のイノベーション」、「プロセスのイノベーション」、「卓越した変革」、「近代テクノロジー主導のイノベーション」、「業務モデルのイノベーション」、「新型コロナ対応イノベーション」の 10 部門で表彰されました。世界の新型コロナウイルスのパンデミックを背景に、銀行における運用やイノベーションに関する緊急のニーズを反映して、今年は「業務モデル」および「新型コロナ対応イノベーション」のカテゴリが新たに設置されました。

受賞した銀行やイノベーション、受賞銀行の声は[こちら](#)をクリックしてご覧ください。

この賞にノミネートされたイノベーションについて **Infosys Finacle の Sanat Rao 最高業務責任者兼グローバル長** は次のようにコメントしています。「私たちは未曾有の変化の時期にあります。顧客中心のイノベーションにより競争力を維持し、顧客にとって有意義な存在であることが容赦なく求められる時代です。新型コロナウイルスによるパンデミックはこの状況をさらに加速させており、銀行は革新的なビジネスモデルを取り入れ、顧客中心のバリューチェーンを推進し、デジタル時代に向けた組織の機能拡大を行うことを余儀なくされています。Infosys Finacle Innovation Awards 2021 のノ

ミネート企業および受賞企業は明らかにこの方面で尽力し、世界に非常に大きな影響を与えるテクノロジー主導のバンキングイノベーションを創出しました。今年のミネートの規模と多様性から、世界中の銀行が持続的に投資を行い、イノベーションに注力していることがうかがえます。受賞された全ての銀行に対し心からお祝いを申し上げるとともに、この先の更なるご成功をお祈り申し上げます。」

Santander UK の国際金融・トランザクション・バンキング部門長である John Carroll 氏は次のように述べています。「Santander Global Connect は、あらゆる規模の英国企業が国際取引や現金管理といったバンキングのニーズをシームレスに管理し、既存顧客との関係を構築、発展させ、新規顧客の国際取引拡大ニーズをサポートするのに役立ちます。今ほど企業にとって国際的な事業拡大を検討するのに重要でエキサイティングな時期はありません。Santander Global Connect は顧客と国際バンキング戦略を現在と未来において支えるうえで不可欠なツールです。」

インドステイト銀行グローバル IT センターの副頭取兼最高情報責任者（CIO）である Ravindra Pandey 氏は次のように述べています。「インドステイト銀行が国際業務のお客様向けにこれまでに 8 カ国においてユーザーフレンドリーで機能満載の共通アプリケーションである yono Global Mobile Banking の運用を開始できたことを誇りに思います。テクノロジーの変化は既に世界で起こり始めており、全てがモビリティとモバイルを中心に回っており、インターネットは私たちの日常ルーチンにおいて当たり前ものとなってきています。弊行の技術パートナーである Infosys Finacle に対し、弊行のデジタルビジョンを現実のものにしてくれたことに感謝申し上げます。弊行の yono Global mobile アプリケーションは、その使いやすさと便利さから『いつでも手軽にできるバンキング』としてお客様の期待に応えられると確信しています。」

Standard Lesotho Bank の最高責任者である Anton Nicolaisen 氏は次のように述べています。「弊行は将来的には、単なる金融サービスの枠を超えたサービスを提供する、全ての個人に選ばれるプラットフォームになることを目標としています。このような未来に備えるには、イノベーションを加速し、安全で信頼でき、便利なサービスを保証できるテクノロジーが必要です。弊行のイノベーション戦略はお客様を全ての行動の中心に据えており、技術プラットフォームやデータ環境、エコシステム、提携関係、未来の労働力によって実現します。そのため、クラウドネイティブの Infosys Finacle のユニバーサルバンキング・ソリューションは弊行の戦略の成功にとって非常に大事です。」

Infosys Finacle について

Finacle は、インフォシスの完全子会社である EdgeVerve Systems による業界トップのデジタルバンキング・ソリューションです。Finacle は従来型や新興の金融機関の真のデジタル変革を進め、スムーズな顧客体験、より大きなエコシステムにおける役割、インサイトに基づいたコミュニケーションや随所の自動化を達成するのに寄与しています。現在、100 カ国以上の銀行が Finacle を利用し、10 億人以上の顧客、13 億を超える口座にサービスを提供しています。

Finacle ソリューションは、コアバンキング、オムニチャネル・バンキング、支払い、財務、オリジネーション、流動性管理、イストラム金融、資産管理、アナリティクス、人工知能（AI）、ブロックチェーンといった要件を解決し、金融機関のビジネスを卓越したものにします。世界の銀行の上位 1250 行に対して行われたある調査では、Finacle Core Banking ソリューションを導入した金融機関の収益に対するコストの割合は導入していない企業よりも平均 7.2 %ポイント低いことが分かっています。

詳しくはこちら www.finacle.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらの記述は、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドでの人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2020 年会計年度（2021 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先:

インフォシス日本

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com